

外国人・支援者対象 2024 年度通訳養成講座 医療編その1

主催：認定 NPO 法人 IVY・(公財) 山形県国際交流協会

2024年7月20日(土)に山形県男女共同参画センターチェリア学習室で「通訳養成講座 医療編その1」が開催されました。

「うつ病・双極性障害」をテーマに、19名の方が受講されました。言語別では、中国語6名、韓国語3名、ベトナム語1名、英語1名、タガログ語1名、ポルトガル語1名、タイ語1名、日本語5名です。うち、5名はオンライン(ZOOM)での参加でした。

【講義】

テーマ：「うつ病・双極性障害」

講師：山形大学医学部附属病院精神課医 白田稔則 氏

<主な内容>

- ・うつ・双極性障害のメカニズムと対応の留意点
- ・うつ病のメカニズム
- ・双極性障害のメカニズム
- ・精神疾患のある人の対応に留意点
- ・うつ病の対応の留意点
- ・双極性障害の対応の留意点
- ・「死にたい」と言われたときの対応
- ・支援者自身が燃え尽きないように

参加者からは

- ・正論を押し付けない。
- ・支援者としての役割の重要性とともに、支援者が地震のケアにも気を付けて支援を続けることの重要性が心にしみました。
- ・相談者 t 支援者の関係を守るためにも、線引きをしながらも相談者の(できない)感情のよりそう大切さを改めて学びました。
- ・対応に対してもまず思いを傾聴することが大切であるということと話を聞いてあげる姿勢を持つことが患者さんの安心につながるのだと学びえることができました。
- ・うつと双極性障害の共通点、違いなどについてわかりやすく、とらえられました。
- ・特に「死」を口にした方への対応について知りました。
- ・うつ病のメカニズムが解明される日の来ることに期待したいです。
- ・うつや双極性障害の方の相談を多数受けます。今日はその治療法や対応について話を伺って大変参考になりました。
- ・介護の仕事をしています。担当している利用者がうつの薬を服用しています。(中略)対応に困っているのですが、今日学んだ知識を対応に生かして活きたいと思います。